

リカレント教育と実践的産学連携の試み

～中小企業の人材確保を担うコーディネーターの育成～

社会科学部 経営専門職専攻

○教授 ^{あきやま しゅういち} 秋山 秀一 教授 ^{にしい しんごう} 西井 進剛

キーワード

リカレント教育, 産学連携, 中核人材確保コーディネーター,

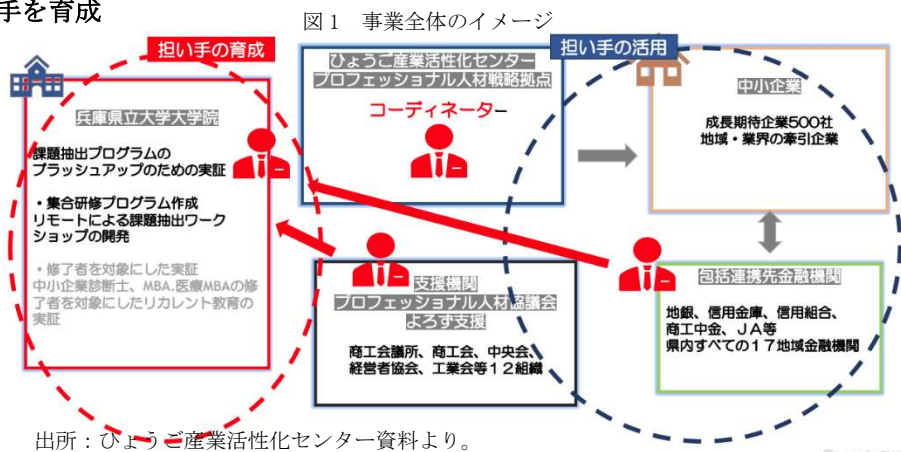
研究概要

■実践的なりカレント教育への取り組み

兵庫県立大学では、2010年4月に経営専門職大学院を開設し、社会人を対象としたリカレント教育に取り組んできた。現在、修了生は約450名、うち中小企業診断士資格保持者は約150名となり、各分野で活躍している。そこで、これまでの経験や構築されたネットワークを活かして、新たなリカレント教育プログラムの開発に取り組んでいる。

■中小企業支援機関の担い手を育成

令和3年度、兵庫県の産業支援機関である（公財）ひょうご産業活性化センターと連携し、中小企業支援に求められる中核的人材確保のためのコーディネーターを育成する「中核人材確保事業コーディネーター育成プログラム」を開催する。



アピールポイント

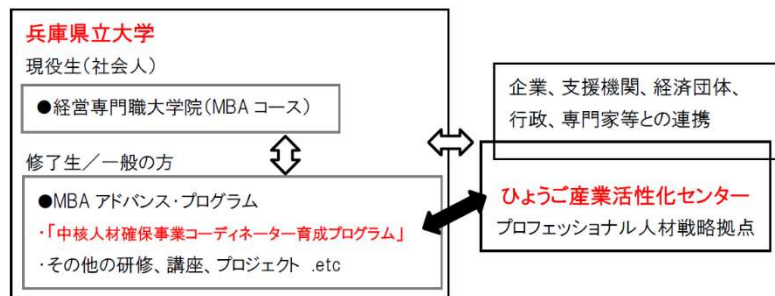
■中小企業庁の事業として採択が決定

本事業は、令和3年度中小企業庁「地域中小企業人材確保支援等事業(中核人材確保支援能力向上事業：実証機関)」に採択（ひょうご産業活性化センター）され、同センターと兵庫県立大学が連携して実施するものである。

■多角的なりカレントプログラム

これまで本専攻では、産学連携による実践的教育に強みを持ってきた。その経験を活かし、支援機関として実績のある同センターと連携して新たなプログラムの開発に取り組む。また、講座を動画として記録・編集することで、多角的なコンテンツの開発を目指す。

図2 リカレント教育体制と本事業の位置づけ



出所：筆者作成。